オープニング＆自己紹介

オープニング
　正直トレーラーの内容をなぞるだけだが、ある程度ちゃんとやると思い入れもかわる。はず。

古めかしくも立派な作りの木造住宅が轟音と共に破壊されていた。強力な重機がうなり、バキバキと音を立てて屋根や柱、壁が壊されてゆく。
「屋明石」と書かれた看板は既に外され、明治２年創業の偉大なる駄菓子屋は数時間で瞬く間にごみの塊となった。
残念そうに見つめる人垣の中に君達３人はそれぞれに思いは違えど立ち尽くしていたのであった。

ＰＬ１→高橋:サラリーマン風の男が「ウソだろ？」と言った表情で立ち尽くしてますよ。
ＰＬ２→サツエ：ううーん、これワタシも同じですね。ラテン系の女性が手にハンディカメラを持ちながら力なく見上げます。
ＰＬ３→ドラゴン：こっちは高校生のツッパリ不良男子だ。暴れて補導されかけるぜ(笑)「コラァ！ババアの店誰の許可取って壊してんじゃ！ボゲェ！！」
高橋：え、マジすか？こわっ！学生こわ！
サツエ：日本人元気ですネー。

シルエットのキャラクター
　なんとなく今作はサウンドノベルなどから端を発するノベルゲームのイメージが強かったので採用した。まあ高橋は明らかに会社員くパリピなのだが気にしないでほしい。

ＧＭ：まあ三者三様といった感じですがここでふと気が付くと周囲の音が急になくなり驚くほどの静寂が広がります。しかも周囲にいたはずの人垣もなくなり、この場にはあなた達３人しかいません。
高橋:あ、そんな異空間にいきなり行くのね（笑）
ドラゴン：俺はそんなの気が付かなさそうだ！
サツエ：日本人がさつネー。
ＧＭ：まあ皆さん少し時間が経てば気が付くと思いますが、まさに周囲の時間がまるで静止したような世界です。しかもある程度以上この工事現場から離れようとすると見えない壁のようなものがあって出れません。
ドラゴン:（見えない壁を蹴りまくる）オラオラ！
高橋：元気すぎだろ（笑）
サツエ：ある意味可愛いですネー。
ＧＭ：じゃあここで自己紹介しますか。

●ＰＣ１
名前：高橋彩音（３５歳　男）
職業：会社員
生活：施設暮らし
才能：脚力
印象：パーティーピーポー
能力値（D1 D2 D3）
記憶力　５　４　３
干渉力　７　６　５
実行力　９　８　７

高橋：うぇーい。どうもリーマンやっている高橋っす。昔、ここの駄菓子大好きで、思い出の味って奴すか？それが思い出せなくて寄ってみたら無くなってました。マジショックで、今困ってます。

●ＰＣ２
名前：サツエ・ダ・シウバ（２６歳　女）
職業：ＴＶ番組ディレクター
生活：兄弟姉妹と同居
才能：運転
印象：小動物
能力値（D1 D2 D3）
記憶力　７　６　５
干渉力　７　６　５
実行力　７　６　５

サツエ：ワタシ、ブラジルからＴＶの取材で日本に来たサツエ・マリア・ジアス・ダ・シウバですネ。駄菓子屋特集だったのヨ。憧れの駄菓子屋が撮影の目玉で来たのに取り壊されて困ってるネ。

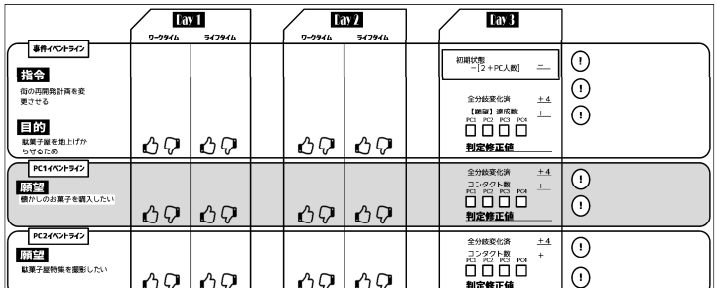
●ＰＣ３
名前：荻原　ほのか（１７歳　男）
自称：ドラゴン
職業：学生
生活：一人暮らし
才能：ＳＮＳ炎上
印象：笑顔（狂気の）
能力値（D1 D2 D3）
記憶力　６　５　４
干渉力　９　８　７
実行力　６　５　４

ドラゴン：ドラゴンって呼んでくれや。まあ学生だ。オレァここのババアに昔世話になってよ。なんだ、たまには恩返し的な？ことしようと思ったらこのザマよ。店なくなるとかありえねーだろ。

ＧＭ：ずいぶん濃い連中があつまったな……。えーとですね。皆さんがなんとなく自己紹介を終えると全員のスマホが震えます。もしくはお知らせ音が鳴りますよ。
ドラゴン：マジかよスマホ動くのか。良かった。こんな辺な場所に取り残されるとかヤベーぜ。
ＧＭ：といっても自由に動かせるわけじゃないですけどね。
高橋：？
サツエ：オーウ。何事？
ＧＭ：画面は謎のアプリが起動していてこーんな感じになっています。

高橋：んんー、めっちゃ怪しい。けど明らかに今起きてる現象と直結してるだろうしなあ。はい押しまーす。ポチッ！
サツエ：はや！
ドラゴン：軽率（笑）
ＧＭ：話早くて助かりますが、色々触るってると右上にアイコンとか出てきて押すと「フレンド」って項目に全員の名前が載ってたりします。みなさんキャラクターシートに書きこんでください。
サツエ：あ、ホントだ。フレンド欄があるネ。てゆーかドラゴンの本名ほのかチャンですカ。かわいい～。
ドラゴン：おいいいい！本名出るのかよ！
ＧＭ：本名も出るし皆さんの現在位置も互いにわかるし、通話もビデオ通話もメッセージもやりとりできます。
高橋：とりあえずほのかちゃん改めドラゴンくん、よろしく。サツエちゃんもね。
サツエ：よろしく～。
ドラゴン：わかった。だから、ほのかちゃんだけは辞めろ。いいな？（狂気的笑み
ＧＭ：あー、えーっとごめんなさい。進めますね。先ほどの画面で「はい」を押すと次の画面が出てきます。こんな画像ですよ。

ドラゴン：あー、これが指令な。願ったり叶ったりだわ。ポチー！
高橋：ほいほいー。ポチー！
サツエ：え、はや！こっちも押すですネ！
ＧＭ：全員が「はい」を押しましたか？
一同：おう！
ＧＭ：すると皆さんは丁度３日前の深夜０時になった瞬間に意識が吹っ飛びます。夜中の１２時なにしてました？
高橋：ええーと。そうだなあ。ベッドでソシャゲとかだろうなー。謎の施設暮らしだし。
サツエ：兄と妹と一緒に暮らしてるんで、お弁当仕込んでますネ。
ドラゴン：ＳＮＳで炎上してるわ。
高橋：炎上って（笑）あ、才能あんのか（笑）
ＧＭ：まあおのおの暮らしがあったと思うんですがそこに強制的に意識が持っていかれます。そして気が付きます。スマホに謎のアプリ「３Ｄａｙｓ」というものが入っていることに。先ほどフレンドに互いの名前が入っているのを確認したものと同じですね。
サツエ：オオ……。日付も戻っているしマジで３日前に戻ったのネ。メッセージ送ってみよ。「げんきー？」
高橋：「ほんとに３日前に戻ったねえ」
ドラゴン：「マジだな。とりまババアの店の取り壊しをぶっ潰す！」
高橋：「ほんそれ」
ＧＭ：さて、それでは本格的にセッションを進めていきましょう。こんなシートを使いますよ。



サツエ：日付とキャラクターと事件がマトリクス上になってるネー。
ドラゴン：全然わからん。
高橋：説明、きこうな（笑）
ＧＭ：では【Ｄａｙ１】へ移行してから説明しますね！

リプレイ前半完！後半 8/10 日更新

ほのかちゃん
ドラゴンのＰＬがキャラクター作成時に名前表を振ったら出たので採用した。
「本名で呼ばれるのを嫌がるキャラにしよう」とＰＬ間で話し合った結果のロールプレイである。
こういうイジり系のロールプレイはいきなりぶちかまさず相手に承諾を取ってからやったほうがよい。